

決算説明会

2016年3月期

2016年5月10日
ミネベア株式会社

1. 業績の説明

2. 経営方針と事業戦略

業績の説明

常務執行役員 依田博実

売上高は、3年連続で過去最高を更新

(百万円)	2015年3月期	2016年3月期	前年比 伸び率	2016年3月期計画 (2016年2月修正)	
	通期	通期		通期	達成率
売上高	500,676	609,814	+21.8%	635,000	96.0%
営業利益	60,101	51,438	-14.4%	55,000	93.5%
経常利益	60,140	46,661	-22.4%	50,000	93.3%
親会社株主に 帰属する純利益	39,887	36,386	-8.8%	40,000	91.0%
一株当たり 純利益(円)	106.73	97.26	-8.9%	106.93	91.0%

為替レート	15/3期 通期	16/3期 通期
US\$	109.19円	120.78円
ユーロ	139.38円	132.75円
タイバーツ	3.37円	3.46円
人民元	17.60円	19.03円

(百万円)	2015年3月期	2016年3月期		前年同期比	前四半期比
	4Q	3Q	4Q	伸び率	伸び率
売上高	138,715	178,661	135,599	-2.2%	-24.1%
営業利益	16,259	15,484	8,536	-47.5%	-44.9%
経常利益	16,905	15,120	8,215	-51.4%	-45.7%
親会社株主に 帰属する純利益	8,906	11,825	6,802	-23.6%	-42.5%
一株当たり 四半期純利益 (円)	23.82	31.61	18.17	-23.7%	-42.5%

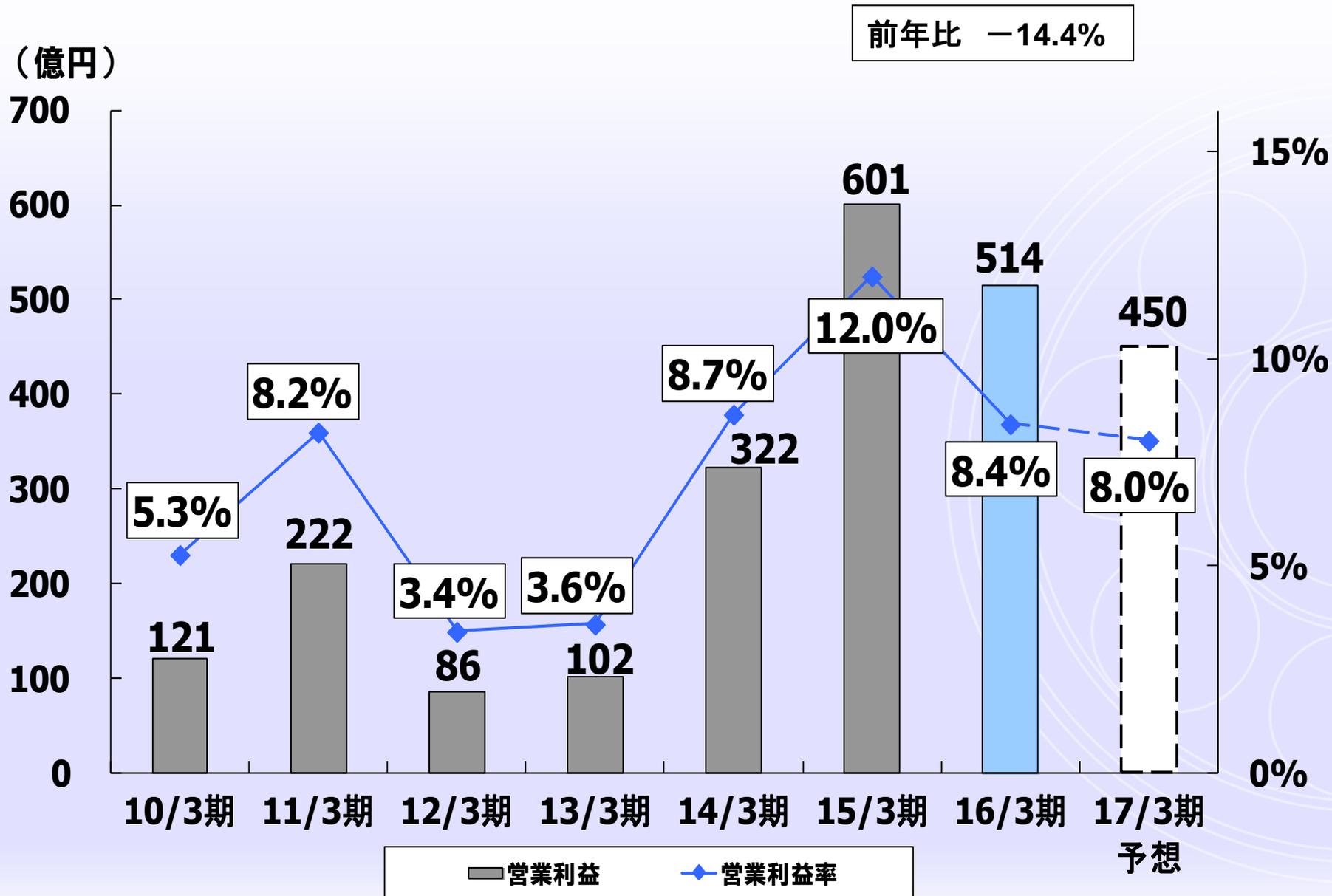
為替レート	15/3期4Q	16/3期3Q	16/3期4Q
US\$	119.36円	121.23円	118.37円
ユーロ	138.02円	132.56円	129.35円
タイバーツ	3.66円	3.37円	3.30円
人民元	19.11円	19.02円	18.06円

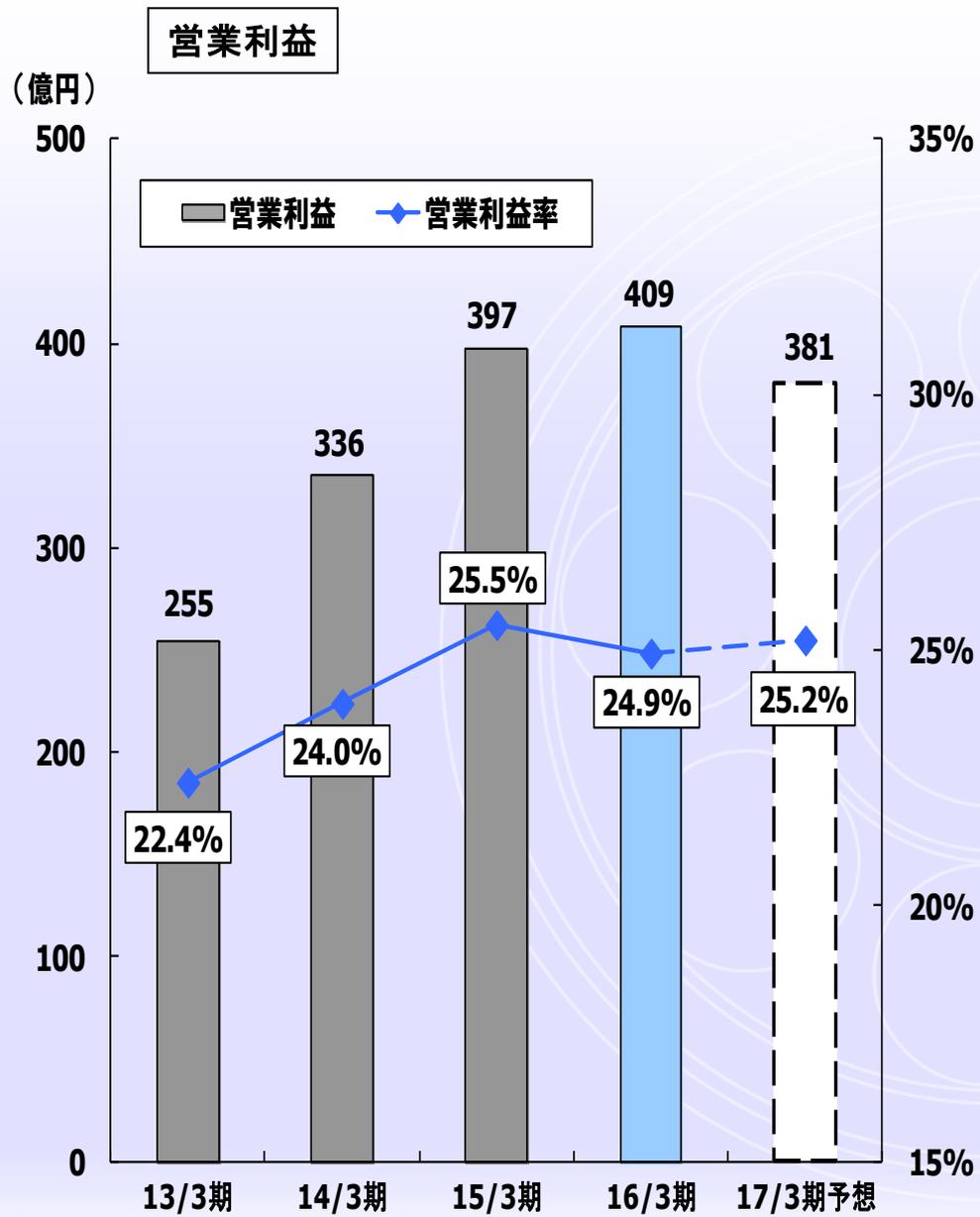
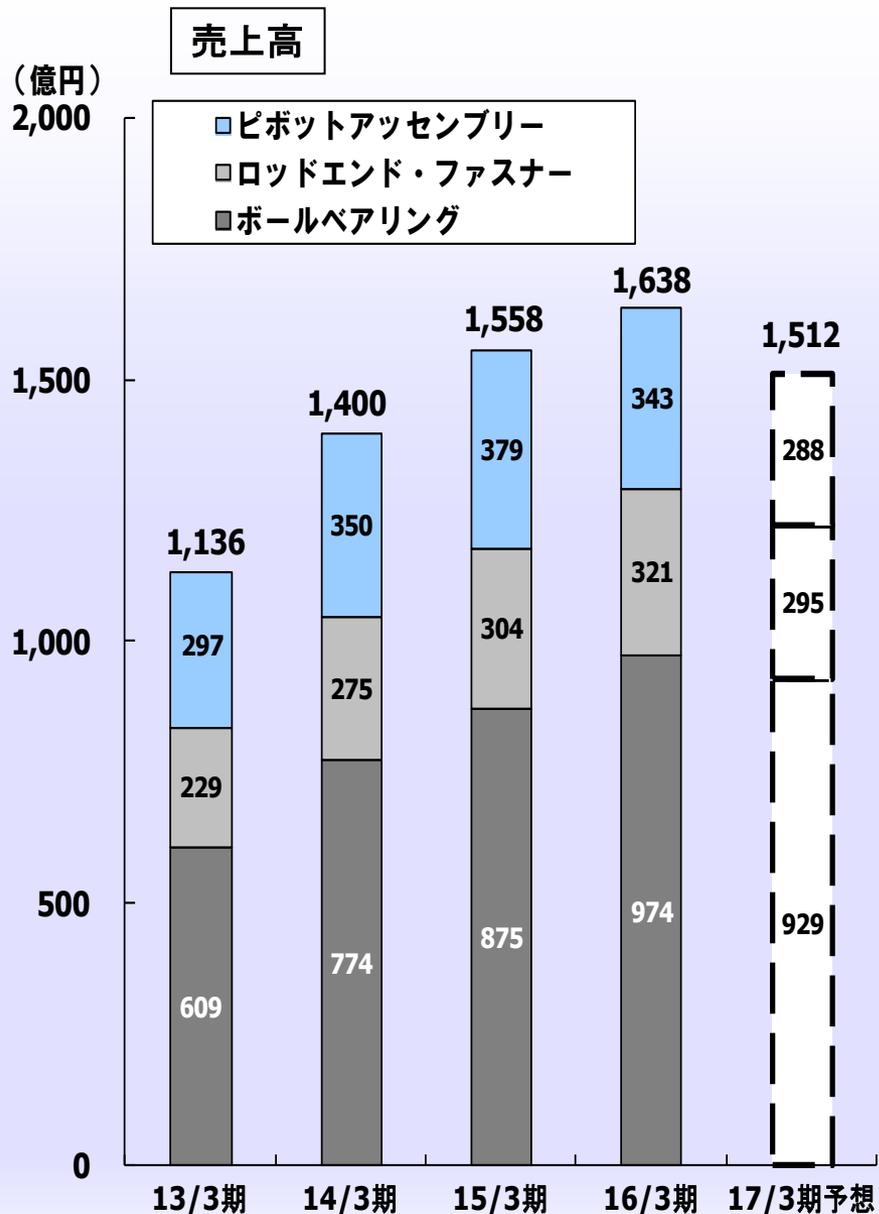
(億円)

**売上高は3年連続で
過去最高を更新**

前年比 +21.8%

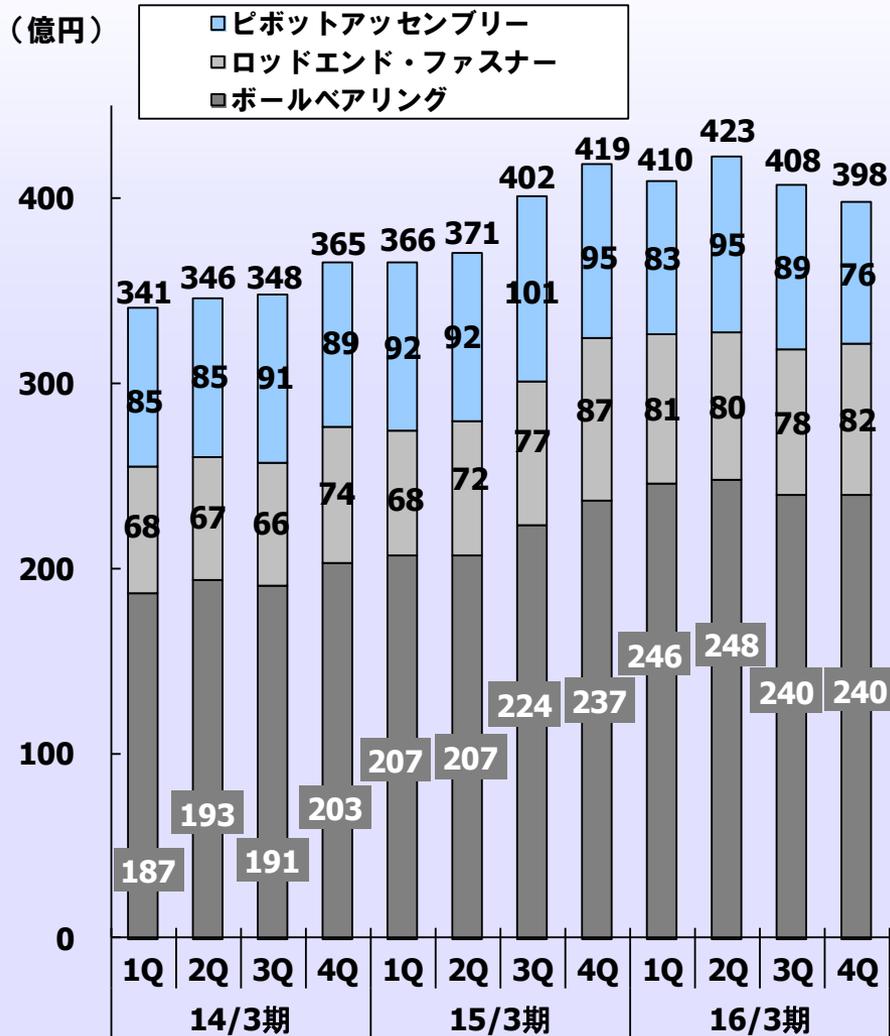




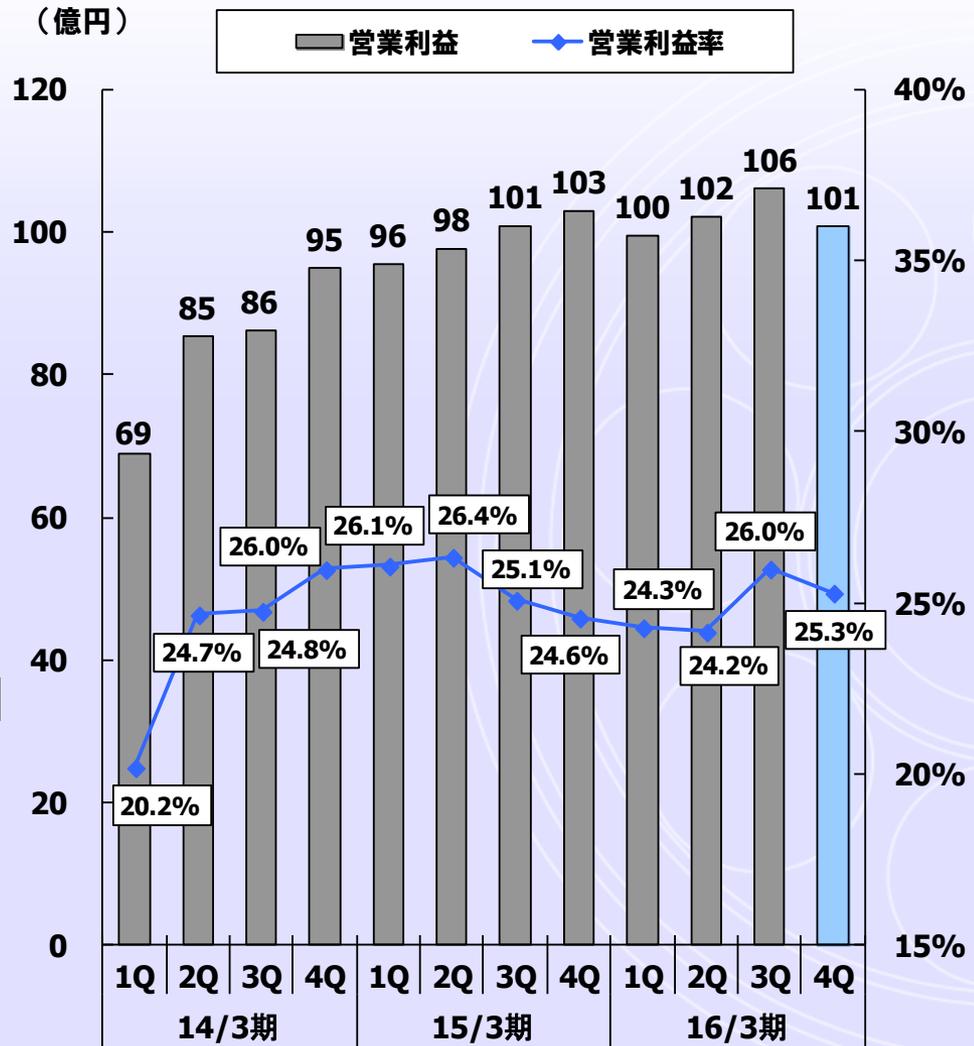


※16/3期より各セグメント間での軽微な変更があり、比較のため15/3期分の数値を遡及修正しています。

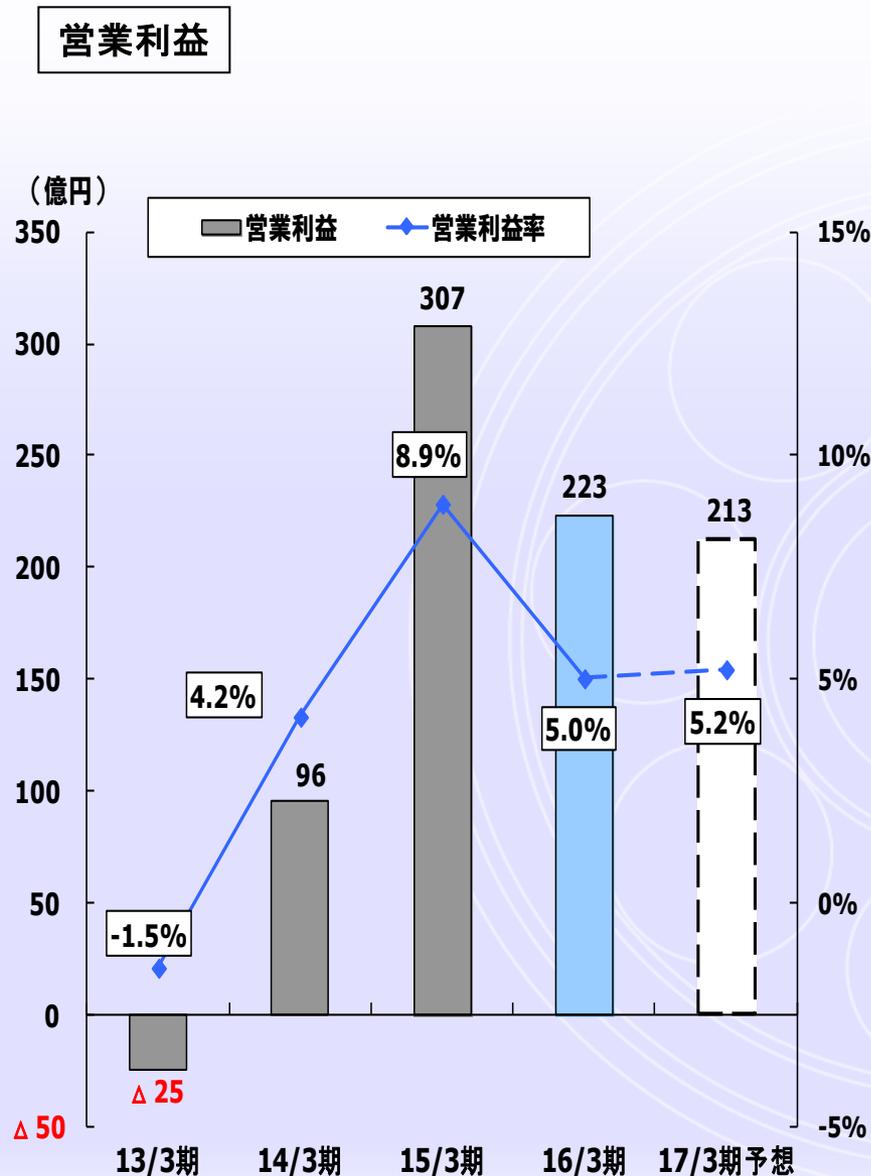
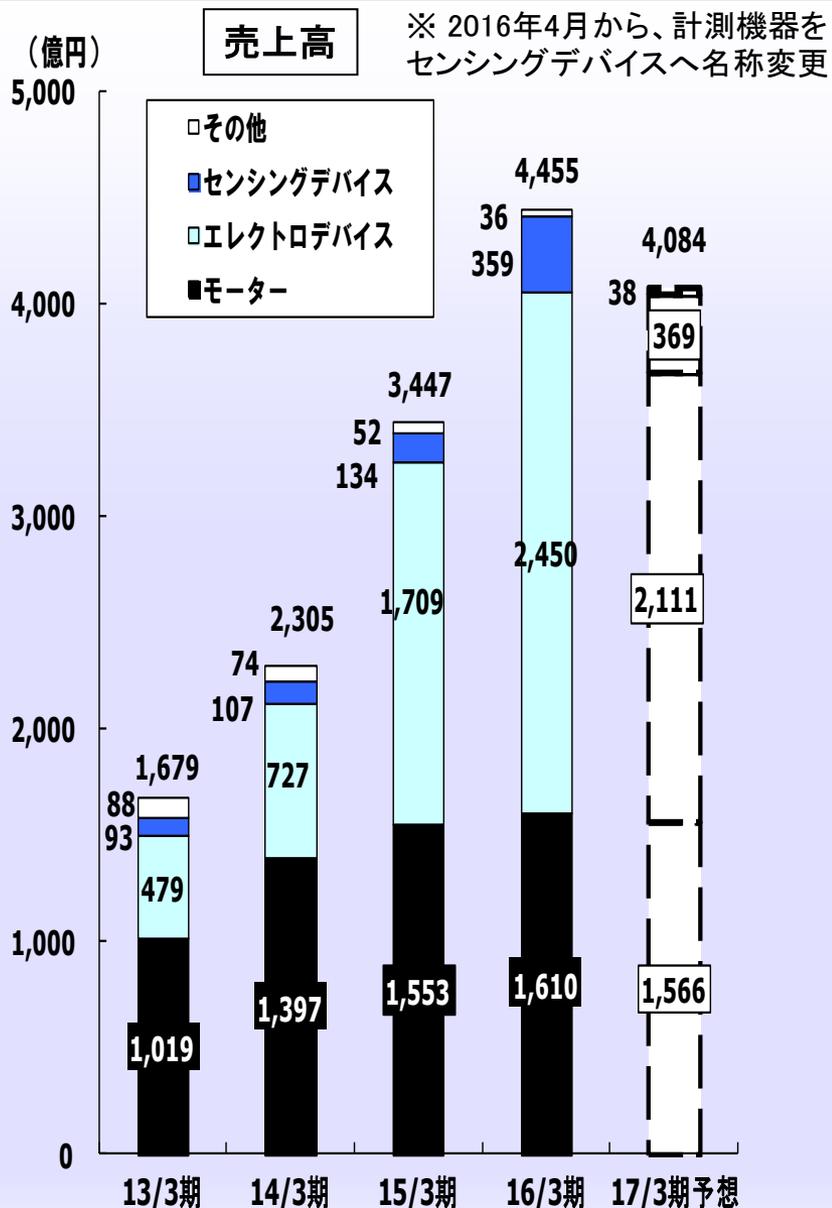
売上高



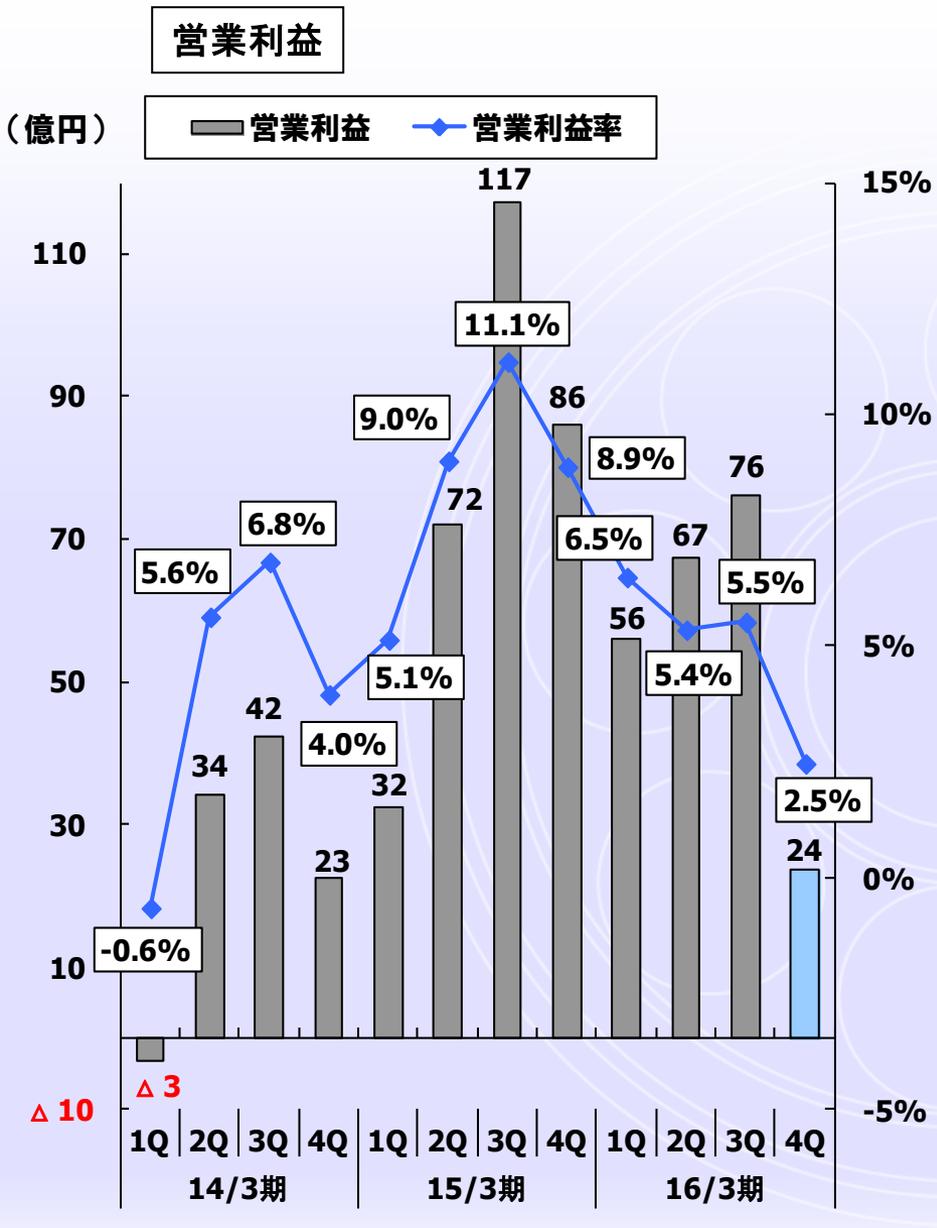
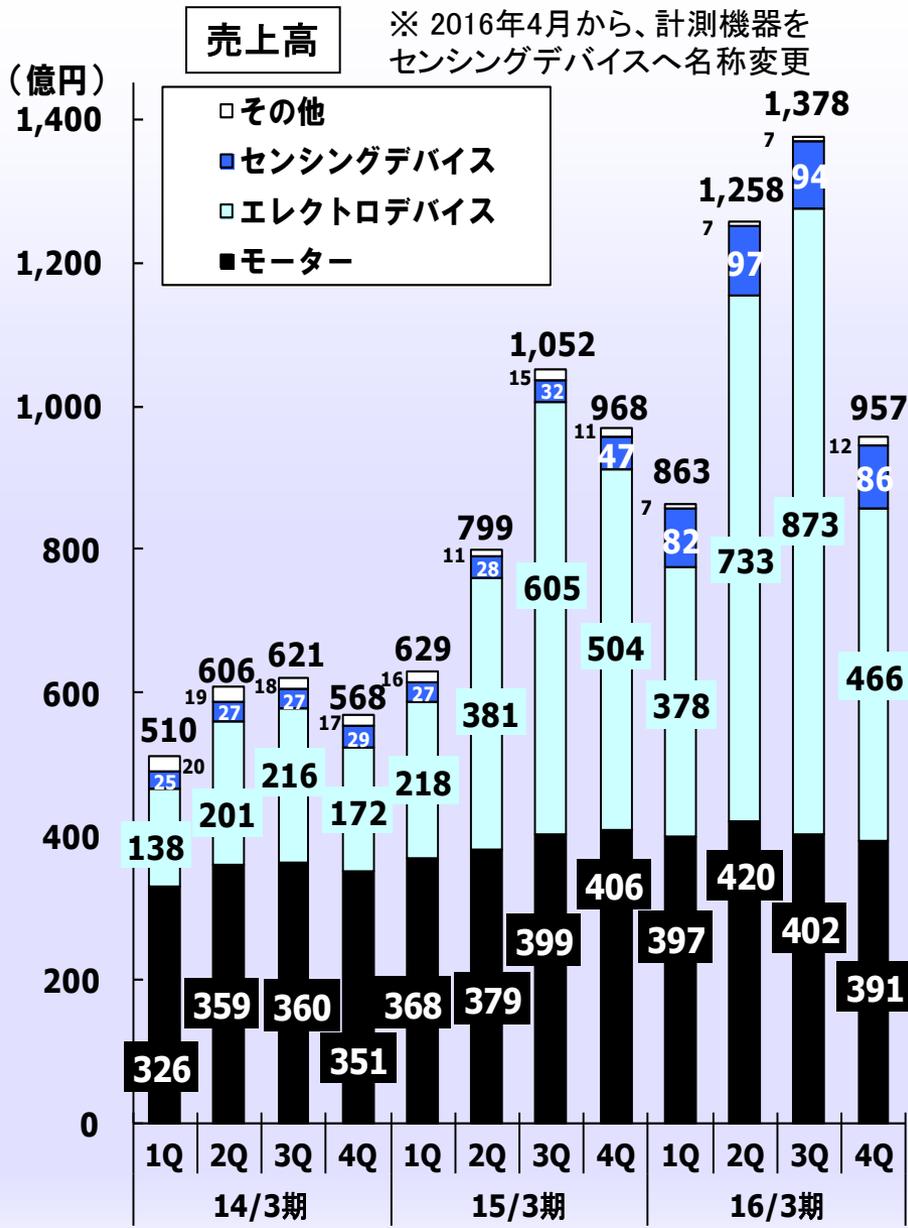
営業利益



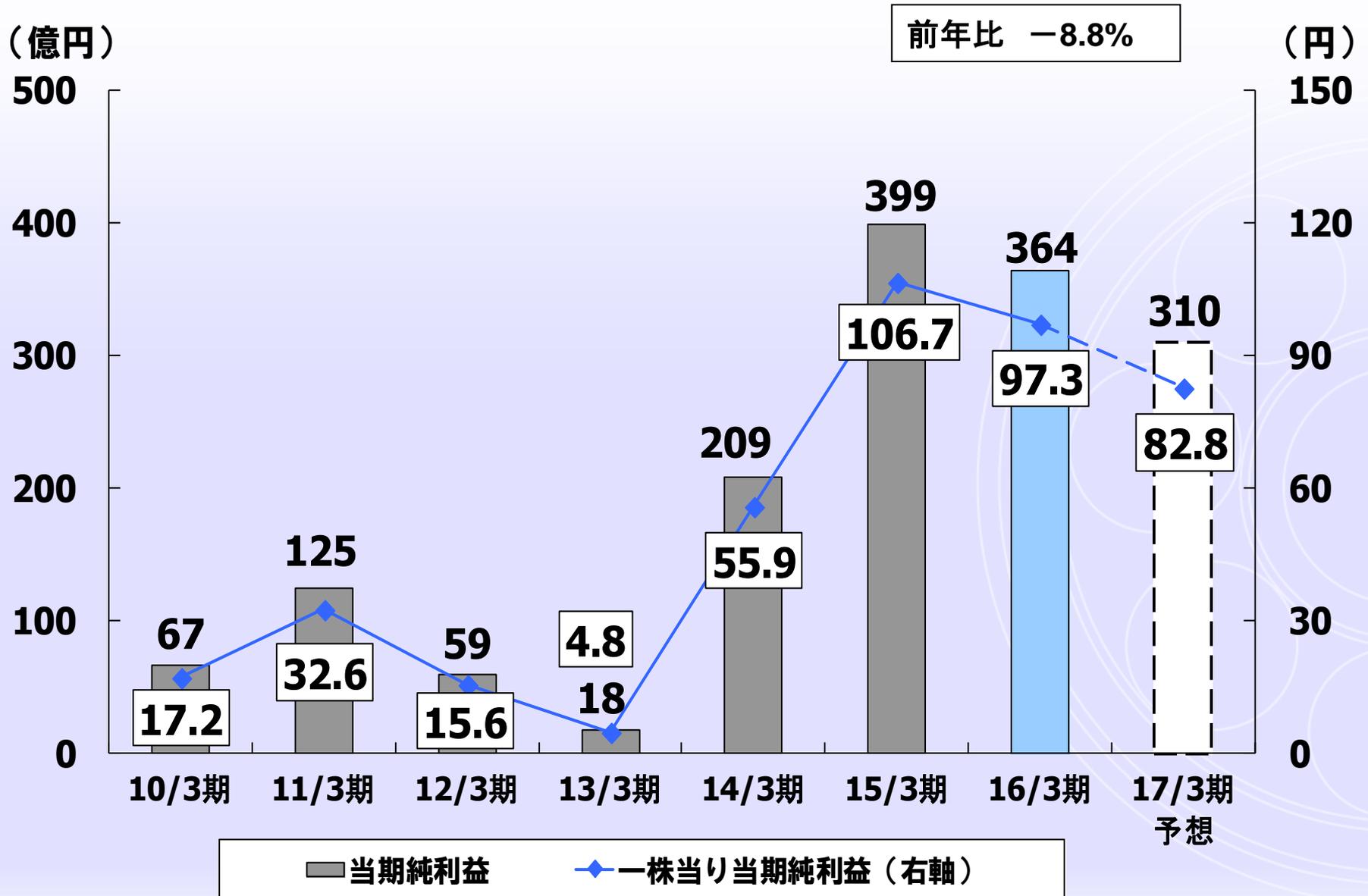
※16/3期より各セグメント間での軽微な変更があり、比較のため15/3期分の数値を遡及修正しています。



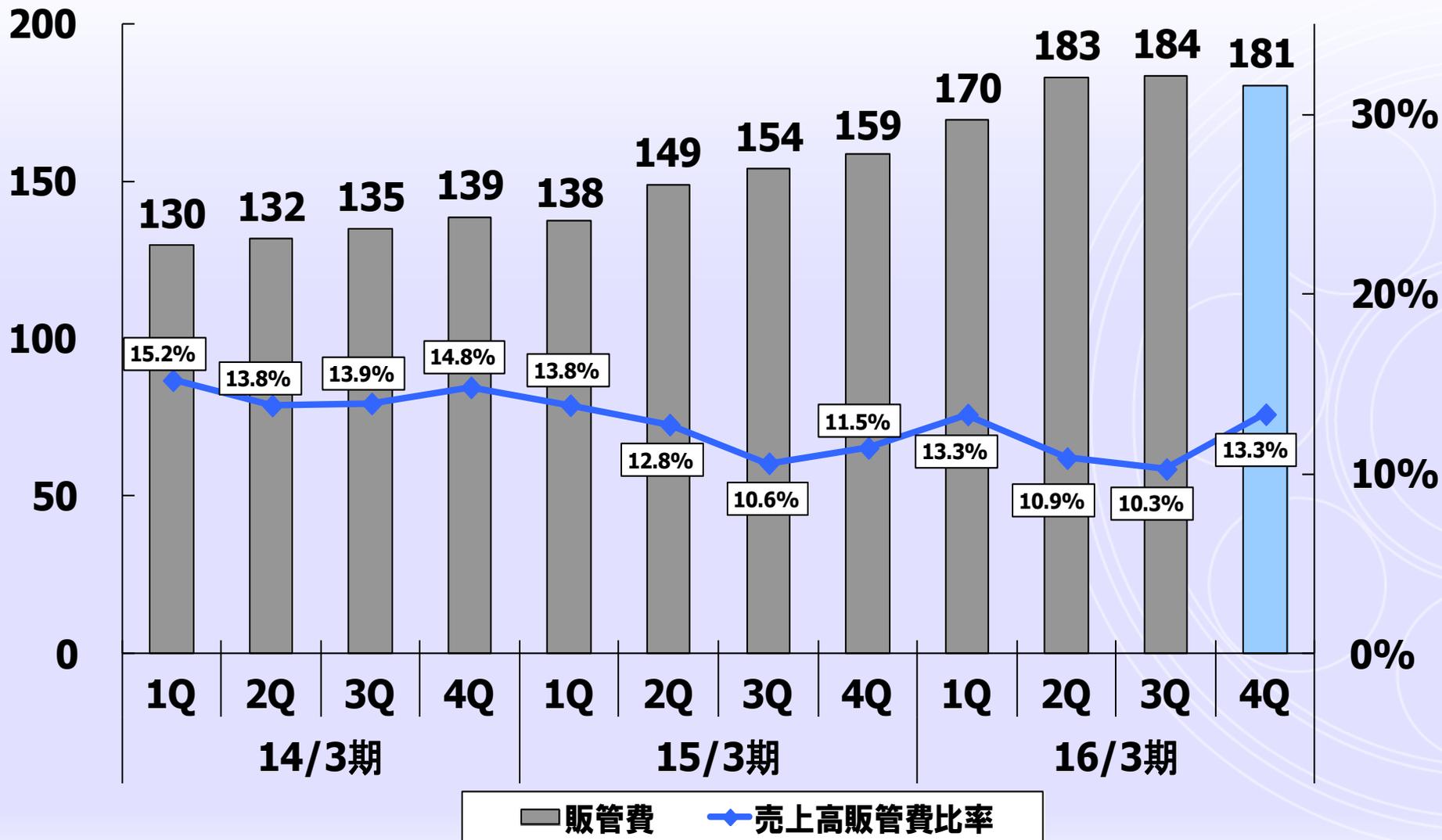
※16/3期より各セグメント間での軽微な変更があり、比較のため15/3期分の数値を遡及修正しています。

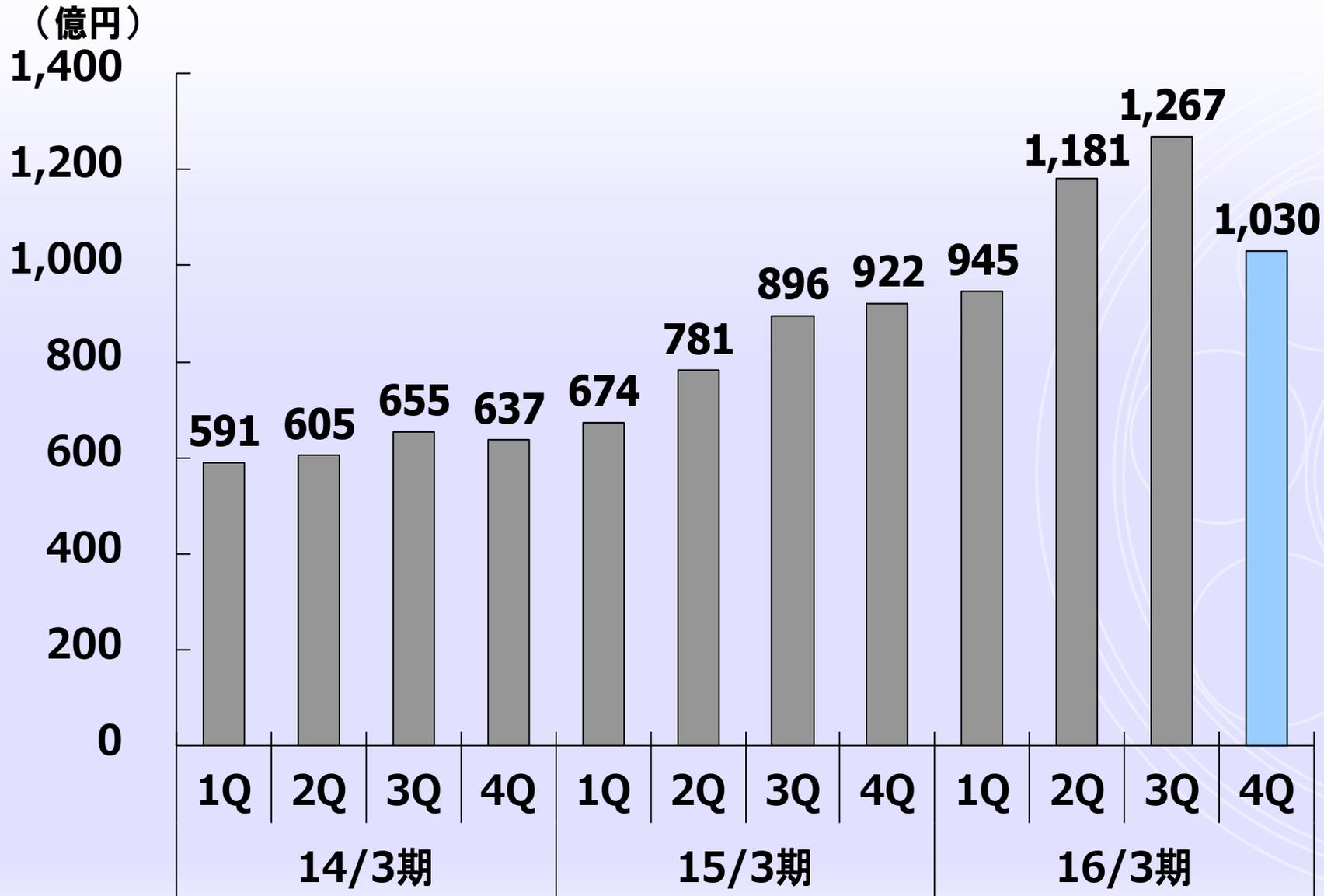


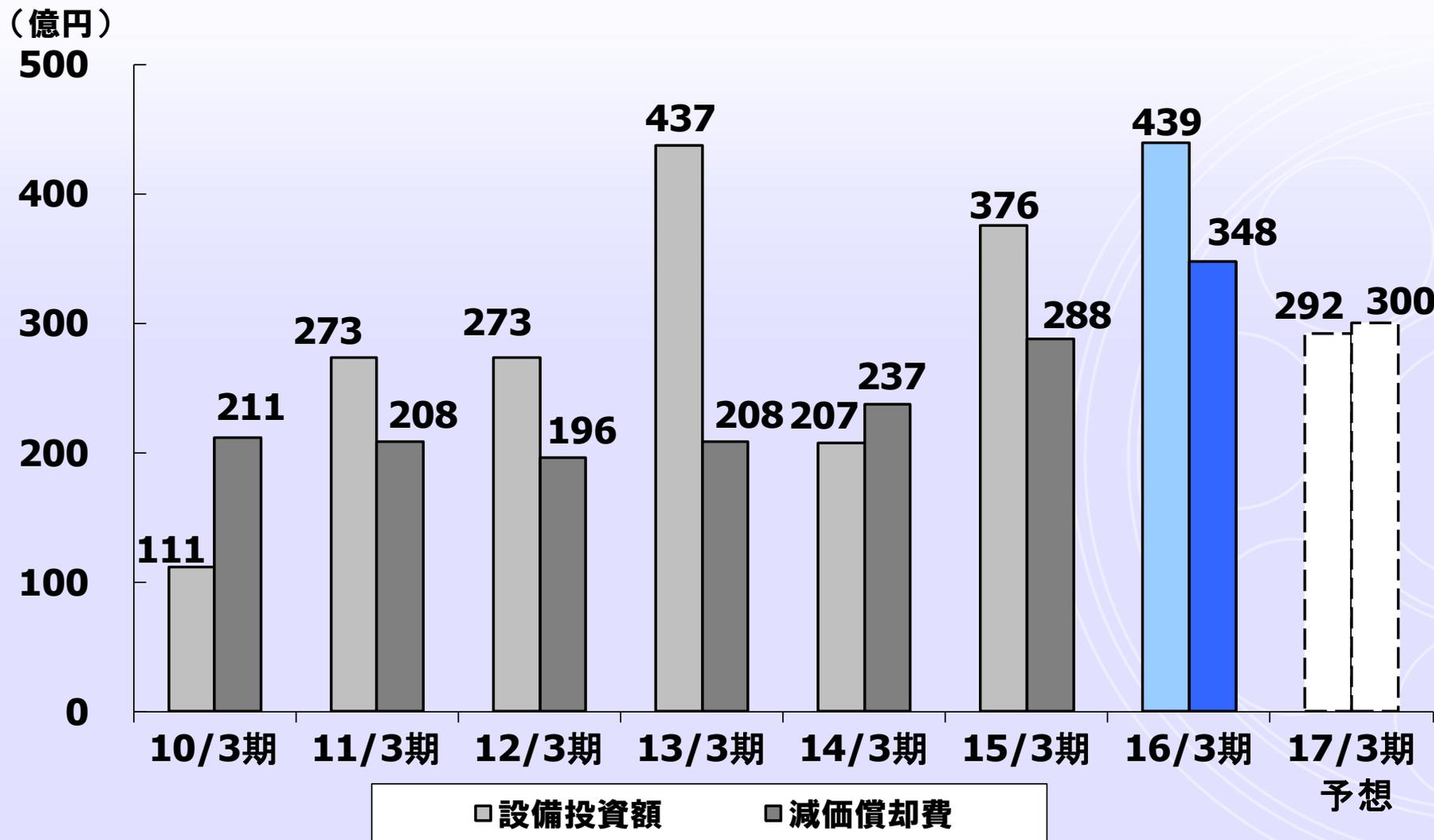
※16/3期より各セグメント間での軽微な変更があり、比較のため15/3期分の数値を遡及修正しています。



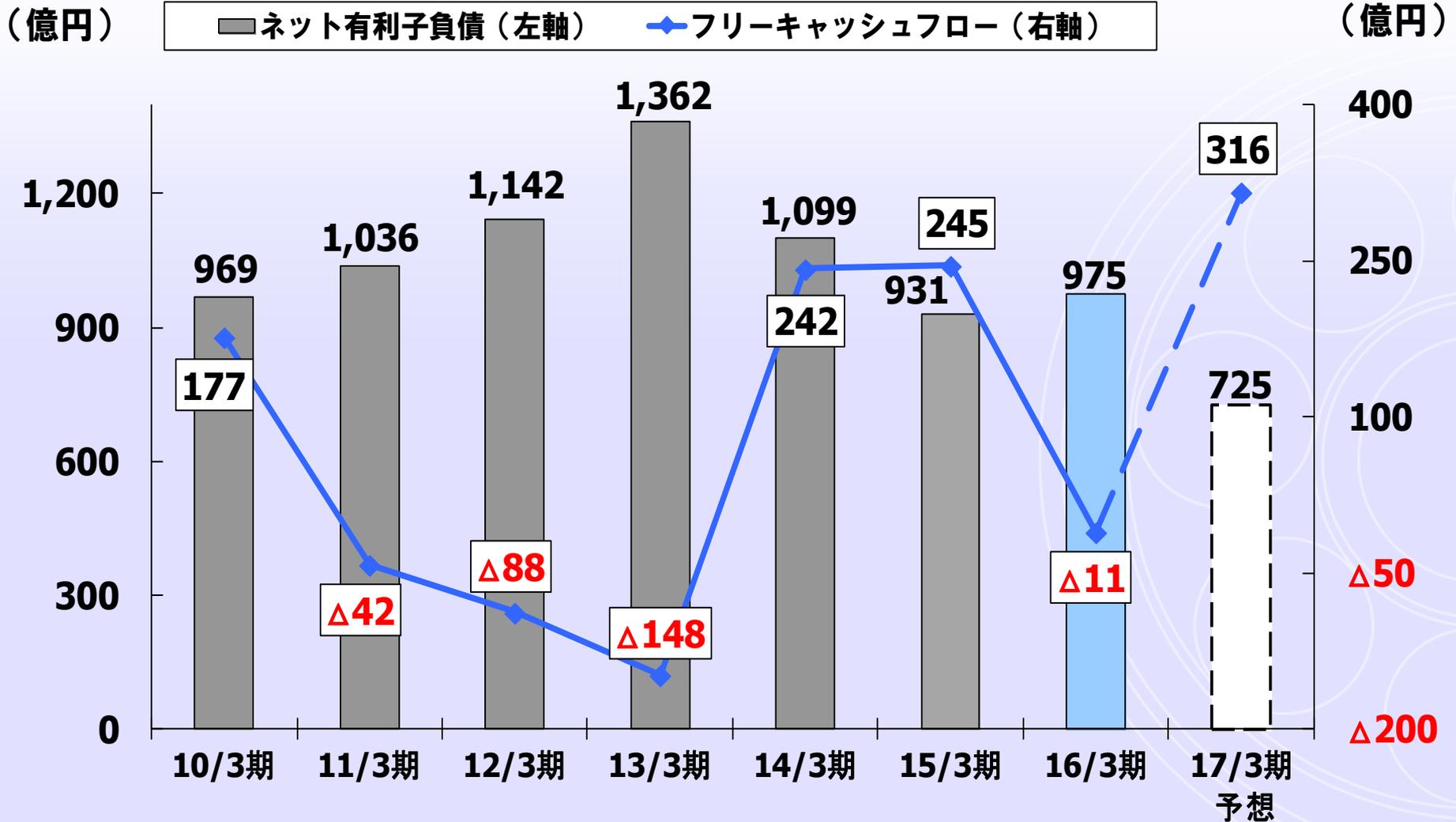
(億円)







ネット有利子負債・フリーキャッシュフロー 年推移



ネット有利子負債 : 有利子負債合計－現預金
 フリーキャッシュフロー : 営業活動CF＋投資活動CF

LEDバックライトの不透明感と円高想定で、 期初は減収減益予想でスタート

(百万円)	2016年3月期	2017年3月期予想			前年比 伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	609,814	260,000	300,000	560,000	-8.2%
営業利益	51,438	18,300	26,700	45,000	-12.5%
経常利益	46,661	17,800	26,200	44,000	-5.7%
親会社株主に 帰属する純利益	36,386	12,100	18,900	31,000	-14.8%
一株当たり 純利益(円)	97.26	32.32	50.48	82.80	-14.9%

為替レート	16/3期	17/3期想定
US\$	120.78円	105.00円
ユーロ	132.75円	122.00円
タイバーツ	3.46円	3.00円
人民元	19.03円	16.20円

(百万円)	2016年3月期	2017年3月期予想			前年比 伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	609,814	260,000	300,000	560,000	-8.2%
機械加工品	163,811	75,100	76,100	151,200	-7.7%
電子機器	445,467	184,700	223,700	408,400	-8.3%
その他	536	200	200	400	-25.4%
営業利益	51,438	18,300	26,700	45,000	-12.5%
機械加工品	40,854	18,200	19,900	38,100	-6.7%
電子機器	22,336	7,100	14,200	21,300	-4.6%
その他	△124	△200	△200	△400	3.2倍
調整額	△11,627	△6,800	△7,200	△14,000	+20.4%



Minebea
Passion to Exceed Precision

経営方針と事業戦略について

2016年5月10日

代表取締役 社長執行役員

貝沼 由久



➤ 前期（16/3期）実績の背景

➤ 今期（17/3期）計画のポイント

➤ 来期以降を見据えたミツミ電機との経営統合

➤ 将来に向けた新製品開発 / 新分野の展開

➤ 株主還元策

プラス要因

1. ボールベアリングの外販数量 前年比7%増加
2. モーターの収益改善が進展
3. センシングデバイス(計測機器)は
買収効果と既存事業の拡大により収益の大幅増加
4. ミツミ電機との経営統合に合意

マイナス要因

1. LEDバックライトの計画未達
 - a. スマホ市場の減速
 - b. 北米顧客の生産調整
2. 第4四半期における円高
3. NHBBの計画未達

今期（17/3期）計画のポイント

ボールベアリング、モーター、センシングデバイス（計測機器）は堅調に伸びる一方、LEDバックライトは減収減益と保守的に想定

円高により売上高、営業利益にマイナスの影響を想定

US\$=120.78円→105円

ユーロ=132.75円→122円

タイバーツ=3.46円→3円

人民元=19.03円→16.2円（16/3期 VS 17/3期）

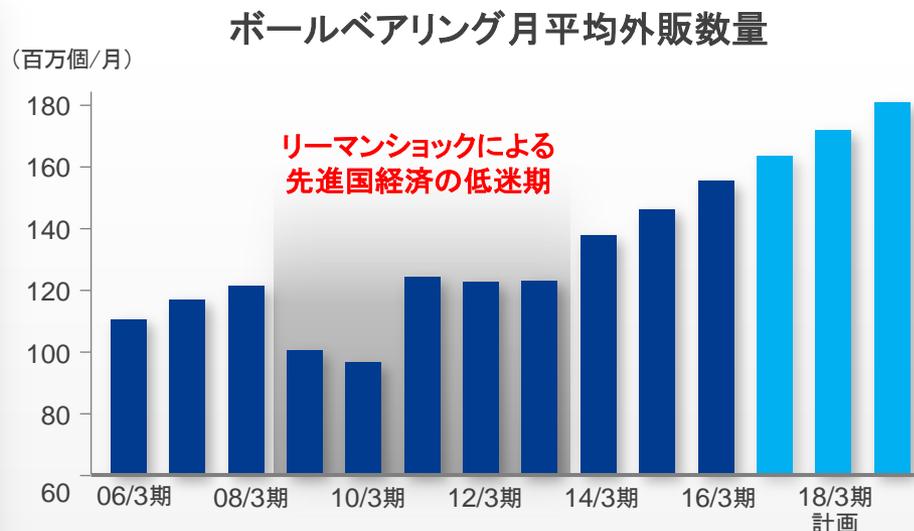
（百万円）	2016年3月期	2017年3月期予想			前年比 伸び率
	通期	上半期	下半期	通期	
売上高	609,814	260,000	300,000	560,000	-8.2%
営業利益	51,438	18,300	26,700	45,000	-12.5%
経常利益	46,661	17,800	26,200	44,000	-5.7%
親会社株主に 帰属する純利益	36,386	12,100	18,900	31,000	-14.8%
一株当たり 純利益（円）	97.26	32.32	50.48	82.80	-14.9%

月平均外販数量は**14四半期連続**で前年同期比増加中！

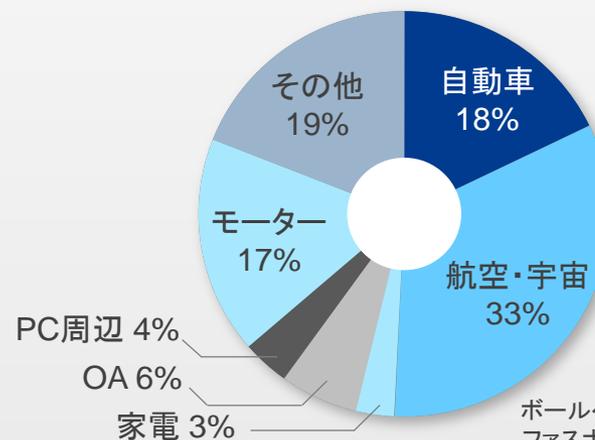
3月の外販数量は過去最高の1億6,500万個を達成

外販需要の拡大が続く

- ▶ ミネベアのミニチュアボールベアリングは高級消費財とともに伸びる。なかでも伸びているのが
 1. 自動車のダウンサイジングによる省エネ化および快適性、安全性の向上。
 2. クラウドの進展に伴うサーバー用ファンモーターの伸び、等。
- ▶ 外部販売数量は前期も月次過去最高を3回更新。
- ▶ 過去3年平均で**年率8%成長！！**



ベアリングの用途別構成比



*注: 2016.3期通期
ボールベアリング、ロッドエンド・ファスナー合計売上金額ベース



ミツミとの経営統合を控え、事業名称を変更 今後はセンサー製品の充実を図る

既存製品の着実な伸び

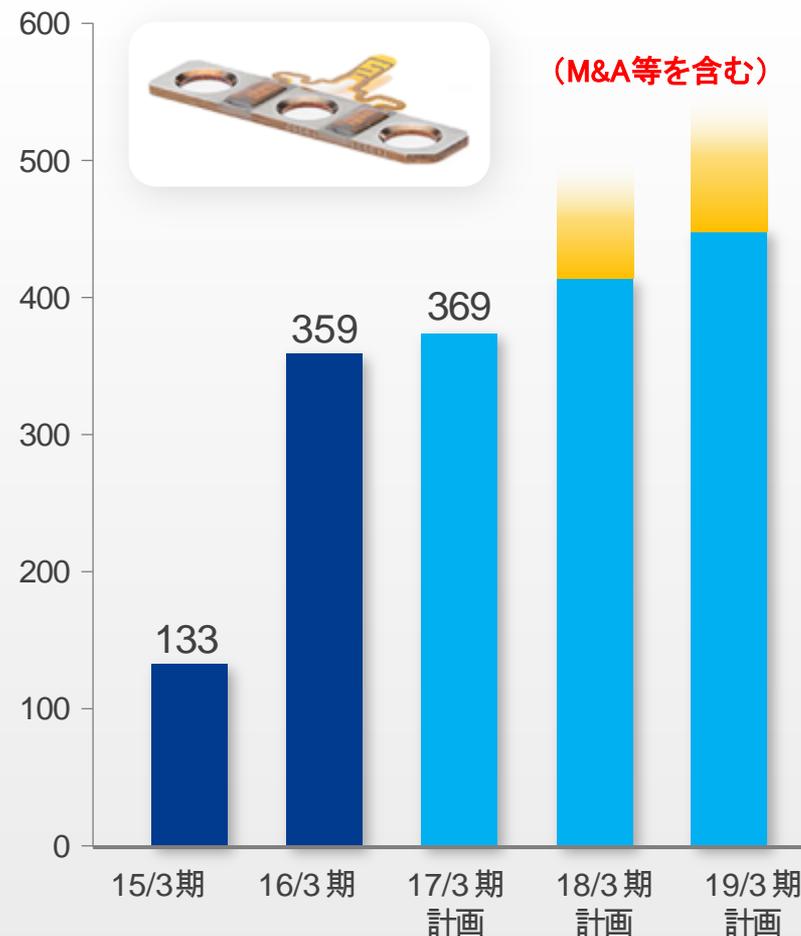
- ▶ 北米自動車市場向けのシートセンサーが、採用メーカーの増加で順調な伸び。
- ▶ 需要の伸びを受け、生産能力拡大中。

買収シナジーの追求

- ▶ 2015年2月に買収完了したSartorius MT&Hとのシナジー創出を早期に進める。
 1. 両社販売体制の活用による販路拡大。
 2. ミネベア製部品の社内調達による相互メリット。
- ▶ 買収後ベースでも、これまでの高マージンを維持。
- ▶ Sartorius MT&Hによる仏・産業用計量機器製造販売会社の買収。

上記に加えて、M&A等も含め
18/3期売上高500億円を目指す

(億円) センシングデバイス事業売上高



堅調な市場環境を受けて今期は積極投資を計画

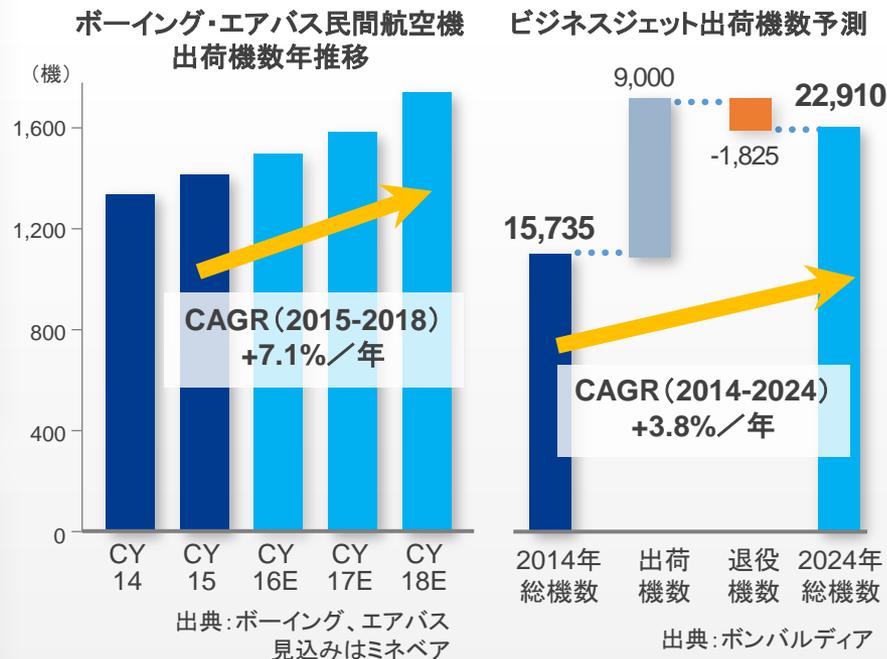
民間航空機生産の伸び

- ▶ グローバル化の進展で、航空運輸需要の拡大続く。燃料コスト低下で収益回復著しい航空会社からの新型機への需要は堅調。
- ▶ 省エネ型新型機 (B787, A350XWB, A320Neo, B737MAX等) の生産が本格化。

中期で売上700億円へ

- ▶ 大型投資を進め、日本、タイの生産能力を大幅に拡張へ。
- ▶ 全世界ベースで製造・販売拠点の連携を強化。
- ▶ 買収したCEROBEARのセラミック・ベアリング技術を生かした製品の採用活動を強化。

民間航空機出荷機数推移



HDD市場は縮小も、 収益改善に向けた取り組みは継続

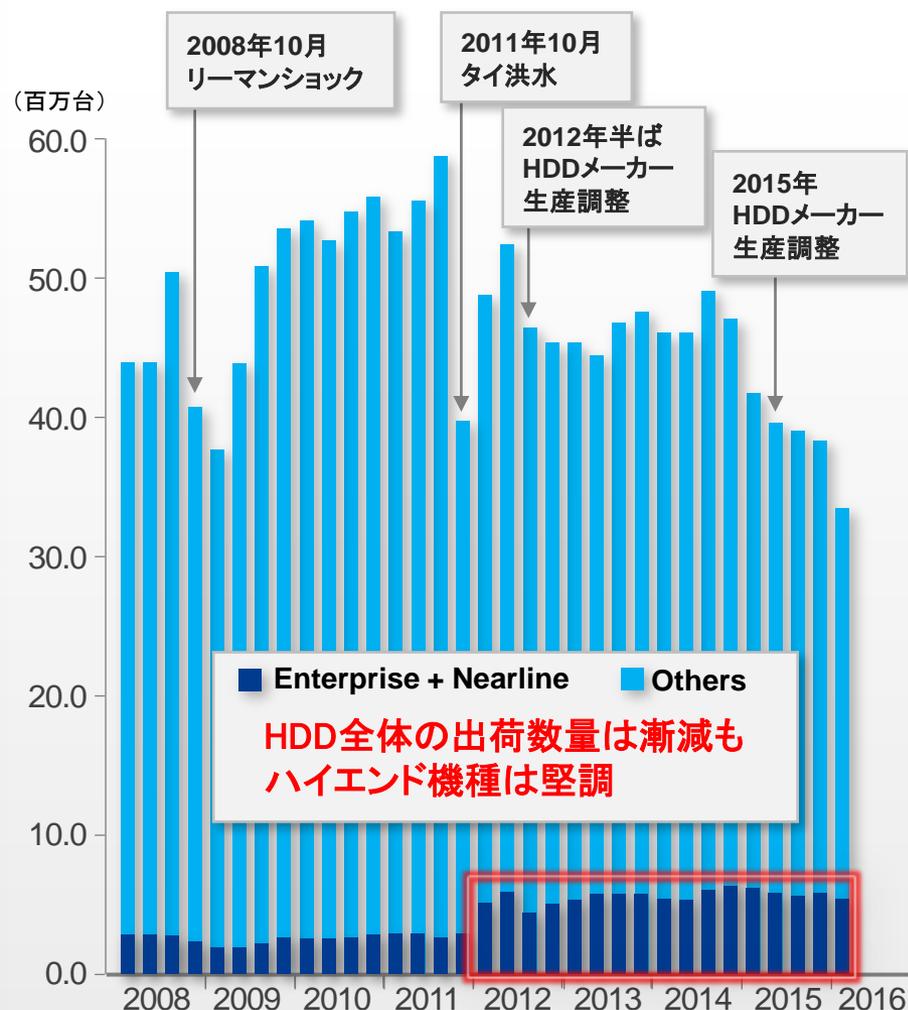
HDD市場は縮小も、得意とする ハイエンドHDD市場は堅調

- ▶ HDD市場は、
 1. PC販売不振
 2. SSDによるモバイル機器向け市場侵食
 3. クラウド化の進展による端末記憶容量の減少などにより、緩やかな縮小トレンド。
- ▶ 一方でハイエンドHDDは、データ記録需要の大幅な伸びが継続しているクラウドサーバー向けで需要拡大が見込まれる。

ピボットとHDDスピンドルモーターの 現状と今後

- ▶ ピボットアセンブリーは、当社+他2社の競争環境で、現在7割超のシェアのさらなる引き上げを目指す。
- ▶ HDDスピンドルモーターは、当社+他1社の競争環境で、ハイエンドHDD向けに注力していく。

HDDの四半期出荷数量(月平均)



生産性改善等はあるものの、売上高、営業利益は減少と想定

売上高、営業利益は減少と想定

- ▶ 1Qは在庫調整が続く見込み。
- ▶ スマホ市場動向および顧客動向に不透明感が強い。
- ▶ 為替レートは円高の想定。

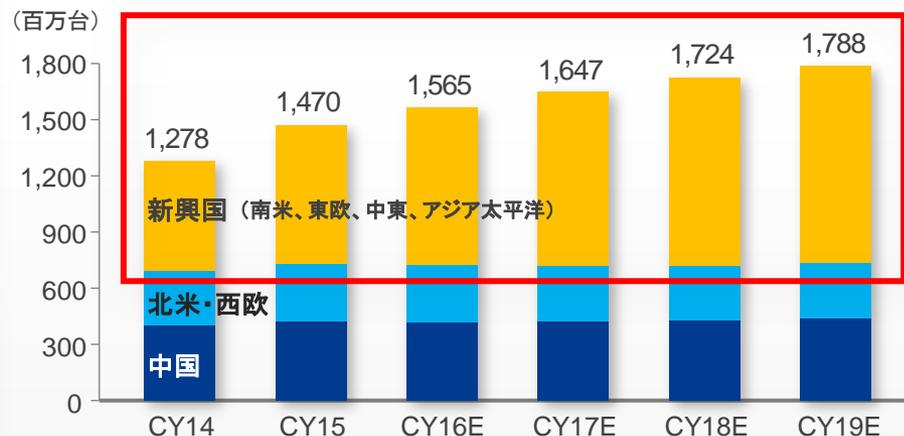
設備投資完了と競争力強化

- ▶ 前期までに必要な生産能力増強投資が完了し、小型高品質液晶ディスプレイ向けLEDバックライトで、圧倒的な生産能力と生産性の実現を目指す。

有機ELへの対抗策

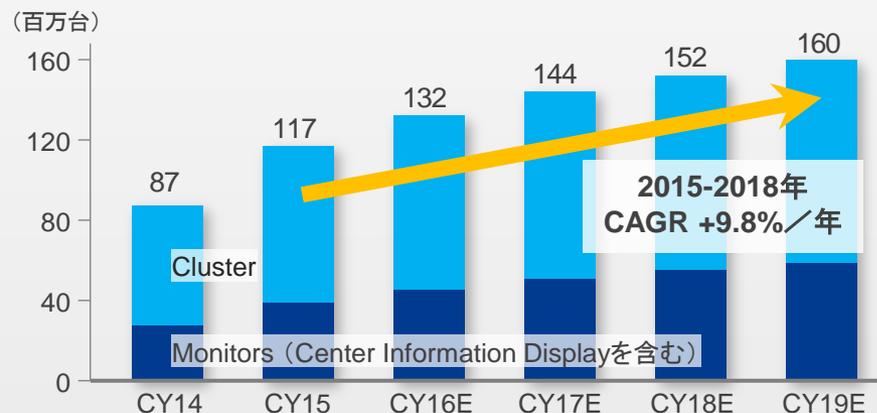
- ▶ 有機ELに対抗するスマホ向け薄型のLED素子と光学シートをサプライチェーンでの共同開発は順調に進展。
- ▶ 来期の数量減も視野に入れ、長寿命が要求される自動車向けを伸ばす。

スマートフォン出荷台数予測（地域別）



出典：IHS Display Search

車載用液晶ディスプレイ 用途別出荷数量予測



出典：IHS Display Search

来期以降を見据えたミツミ電機との経営統合

独禁法企業結合申請の各国当局による認可後
⇒業務支援契約を締結し統合後のスタートダッシュへ準備

ミネベアの超精密加工技術と ミツミ電機のエレクトロニクス技術の相乗効果



売上高
(2016年3月期実績
および見込み)

**従業員数
ミネベア:2016年3月末時点
ミツミ:2015年9月末時点



*ミツミ電機の2016年3月期売上は
2016年3月30日時点の見込み数値

2015年
12月21日 基本合意締結

2016年
3月30日 最終合意締結

独禁法当局次第で
タイムラインが長くなるリスク

2017年 3月17日(予定)
新生ミネベア ミツミのスタート

独禁法企業結合申請
(4カ月程度)

統合準備期間

来年、統合後3カ年計画を発表(予定)

2016年12月27日(予定)
ミツミ臨時株主総会

1 Sartorius MT&Hによる
仏・産業用計量機器製造販売会社の買収

2 SALIOT™の本格的拡販を今期中に開始

3 医療用ベッドセンサーの臨床実験を開始

1. Sartorius MT & Hによる 仏・産業用計量機器製造販売会社の買収

フランス市場での産業用計量機器・検査機器分野のシェアNo.1を目指す

AaZ Pesage 社

- 様々な計量手段や独自設計のハカリ、等、高度な顧客支援ノウハウを有する。
- 主要顧客は食品加工、リサイクル、医薬品。
- 2015年12月期 売上高9.1百万ユーロ。

Centre Pesage 社

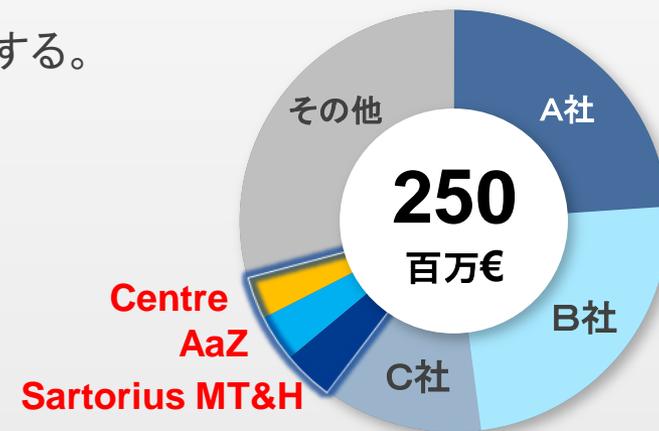
- トラックスケールや様々な計量手段、等、強力な顧客支援ノウハウを有する。
- 主要顧客は農業、環境／リサイクルおよび医薬品。
- 2015年12月期 売上高7.5百万ユーロ。

Sartorius MT&Hが両社の全株式を約15億円で取得

買収による効果

- ▶ ミネベア、およびSartorius MT&H製品を両社の顧客にも販売する。
- ▶ 計量システム化の為にソフトウェア、ハードウェアを統合し、製品ラインアップの競争力を増大させる。
- ▶ 今後も成長が期待される食品加工、衛生製品および医薬品業界向けの市場におけるシェアを拡大する。

2015年フランス国内市場での
産業用計量・検査機器販売シェア



2. SALIOT™の本格的拡販を今期中に開始

国内外へのマーケティングを加速

- ▶ 2015年10月、CTI社との協力でPremier Lighting Solutions (PLS社)を設立。2016年3月、タイ・バンコクにショールームを開設し、照明製品の本格的な販売活動へ
- ▶ 2017年3月期中に国内の販路を確立
⇒東京にショールームを開設(夏までに)
- ▶ 三越伊勢丹新宿本店様にて試験採用。
2016年3月02日(水)まで 本館2階および本館5階
2016年4月20日(水)まで 本館5階および本館1階ショーウィンドウ
2016年4月27日(水)まで 本館1階 ザ・ステージ
- ▶ その他国内外の商業施設、カーディーラー、博物館、各種催事場等でご採用中。



三越伊勢丹新宿本店様

米サンディエゴ「Light Fair International 2016」に出展

- ▶ 世界最大級の建築・商用照明の展示会
 - ・ 日程: 4月26日(火)～28日(木) 場所: 米カリフォルニア州サンディエゴ。
 - ・ 出展内容: SALIOT新ラインナップ、スマートシティ向けワイヤレス技術ネットワーク技術等。
 - ・ **Track, Display, Undercabinet and Shelf** カテゴリで**最優秀技術賞を受賞!!**



タイ・バンコク ショールーム



Light Fair International 2016

2. SALIOT™のグローバル販売体制の確立へ

世界有数の照明器具メーカーである独OSRAM社、米EPL社と
SALIOT™の販売提携契約を締結

Minebea
Passion to Exceed Precision

ラインナップの強化
量産体制の確立
日本での販路確立



欧州地域における販売提携

2016年12月頃販売開始予定

アジア・
オセアニアは
近日中に
パートナーを決定



アメリカ合衆国、カナダ、メキシコ、
カリブ諸国などにおける販売提携

2016年秋頃販売開始予定



Premier Lighting Solutions

タイなどにおける販売提携

2015年10月設立
(タイCTI社との協力で)

3. 医療用ベッドセンサーの臨床実験を開始

日本IBM様、千葉大学医学部附属病院様との共同実証研究が進展 ミネベアは来期初めより販売開始へ

生体情報モニタリングシステム

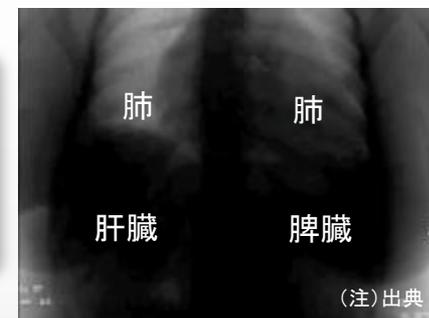
- ▶ ミネベアの高精度荷重センサーと、機械学習およびクラウド技術の組み合わせ。
- ▶ 非侵襲、非接触でリアルタイムに生体情報が観察可能。
生体情報の例: ベッド上の人の体重、体動(体の向きや軌跡)、呼吸状態(呼吸の回数、深さやパターン)、心拍等。
- ▶ 医療者様、介護者様の負担を軽減し、患者様へは見守られている安心感を提供。
- ▶ 生体情報システムに係る10件以上の特許・意匠を出願中。

正確な重量、
重心軌跡計測

生体シグナルを
分別・解析

医療現場で
意義のある解釈

精密な重量センサーで
+/-100gといった
微細な重さの変動も検知



夜間の生体情報収集は不連続、不確実

手術中～集中治療室

患者監視モニター



ギャップ

一般病棟

(術後安定し、退院まで)

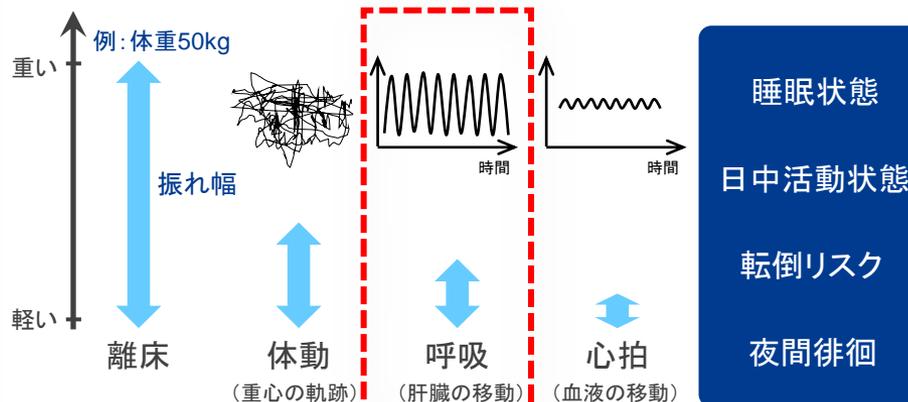
看護師巡視

日中2～4回、夜間は
1回程度。血圧、脈拍、
体温、呼吸等を観察。

夜間は人手不足かつ
重大インシデントが多い

(注) 出典

ベッドセンサー信号



(注) 出典: 千葉大学医学部附属病院
麻酔・疼痛・緩和医療科 磯野史朗先生

配当方針

16/3期 期末配当 **10** 円/株 計年**20** 円/株

17/3期 中間配当 **未定**
予想配当 期末配当 **未定**

17/3期は配当性向20%程度を目途に決定する

当社は、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針といたします。

ミツミ電機との統合後のスタートダッシュへ準備

**引き続き、機械加工品事業分野での
大規模M & Aを狙う**

分野や目標を絞ったM & Aとアライアンスを検討



ミネベア株式会社 決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。